# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年 紀元二千五百六十九年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西署西小門通(電話六六三) 京城新報社

## 甘茶澁茶

▲自覺に俟つ

人病あれば則ち必ず藥餌を食ふ、藥餌は病を醫するか、病は藥餌に癒ゆるか藥餌の醫するは、藥餌の病を醫するにあらずして、病軀の病軀を醫するなり病の癒ゆるは、病の藥餌に癒ゆるにあらずして、病軀は病軀に癒ゆるなり。唯夫れ藥餌は病の癒ゆるを俊くし、病の癒ゆるは藥餌に賴て速し、然れども若し時にして臻らずんば、百餌の藥餌も病を醫するに由なく、病軀は遂に病軀に終はらん。若し時にして臻らば、危篤の病も藥餌なうして癒ゆべく、病軀は遂に病軀に癒ねなん。惡徒の訓誡に於ける亦た斯の如き歟。訓誡の致すは、訓誡の善に致すにあらずして、惡心の惡心を致すなり。善に悟るは惡の訓誡に悟るにあらずして、惡心は惡心に悟るなり。時臻らずんば惡徒は遂に惡徒に終はり、時臻らば惡徒は遂に惡徒に悟らん。訓誡は惡の悟るを促し、善に致すは訓誡に俟さも、自覺は遂に自覺に俟つ、猶ほ病癒の病癒に俟つが如き歟。

▲上混濁し下混濁す

人道日に敗頽し、風儀年に紊亂し、世を擧げて輕佻浮薄の俗を爲せしもの、抑も是れ誰れの罪ぞや。余輩は上流華冑に其の罪を歸せざるべからず。戰捷の誇りに醉ひ、太平の康きに狎れ、武備を忘れて文弱に溺れ、有ゆる罪惡を敢てして憚らざるものは、今日華冑の狀態ならずや。現今禮遇の停止に居る者二家、禮遇を享くるを得ざる者六家而して近く將に懲戒會議に附せられんとする者十數の多きに居り。伯爵堂の類の如きは數ふるに遑あらずと喩す。豈に驚かざらんや。余輩は又た多くを言ふを欲せざるなり。嗚呼上の好む所は下之れより甚だしきものなし。下流の混濁當然ならずとせず。上流既に斯の如く、下流亦た既に此の如く、世を擧げて輕佻浮薄の俗を爲し、人道日に敗頽し風儀年に紊亂す。世は遂に澆季の世となれるか。羅馬の滅亡に聯想せざらんと欲するも得ず、吁。

## 宮中綱紀の弛廢

寄書 旭川

古來帝王にして內、民心を喪ひ外、隣邦に信を失し遂に社稷の祀を絕つに至りしもの、多くは政を廟堂に視ず、宰臣の言に肯かず、內謁密奏を重視し此れに聽きて事を斷じたるが爲めならざるは稀也。韓國今日の衰運を誘致したるも又實に是れに因す。我帝國の進んで韓國保導の任に膺るや、其當初に於て宮中の廓淸を企畫し、雜輩の宮府に出入するを禁じ、以て內謁密奏の弊を絕つに努めたり、之れ我が保護政治を行ふ上に最も必要事としたるのみならず、渠れをして其の社稷の祀を絕たしめざらんが爲めなりし也。

然るに怜悧なる渠れ等は之れに平かならず遂に彼の海牙事件を釀出したり、此れよりして宮府の出入誰何は著しく其の嚴を加へたり、爲めにせんとする外人間には少なからず批難の聲ありしを聞きたりしも、光武帝の禪讓とゝもに企圖せりし宮中の肅淸は完成せられたるなりき。

然るに頃日に至り李某なるもの太皇帝の雜輩を近付け排日派と氣脈を通じ諸方に密偵を放つ等の事をなし宮中の事一として信ずる能はず、人民は迷惑す國家の爲め寒心に堪ねず云々の語を爲したりとか、言元來より悉く信ずべからずと云へとも、又一概に誣妄の言として斥く可らざるものあるが如しとなさずや、況んや更らに本日(十二月二日)發行の當紙三面欄に依れば嚴妃は巫女簪連なるものをして永瑄寺に皇太子安康の祈禱を爲さしめたりと傳へらるゝに非ずや、之れを思ひ彼れを念へば宮中の事言ふに忍びざるものあるが如し。

今、嚴妃の巫女をして祈らしめたる所は傳へらるゝが如く皇太子の安康にあるなるべしとするも嚴妃か今に至るも猶は巫女類を近付け、禁呪祈禱を嘱せらるゝことある事は、之れに依って證明せられたるものと云はざる可らず以上兩傳說は明かに現下宮中の情勢を語りて餘りありと云ふべき也。

萬難を排して宮中の肅淸を斷行したる伊藤公の職を罷めて未だ一歲ならざるに、疾く己に宮中綱紀の弛廢玆に至る今にして予は更らに伊藤公の偉大なるを認め得たり。萬一韓廷臣にして宮中に雜輩の出入するは、猶は統監邸に太夫、藝妓の出入すると異なる所なし、なんどと樂觀し自ら戒むる所なくんば遂に臍を噬むも及ぶなきの患愛は到らん也(二日稿)

## 地方通信

▲平壤通信

▲植樹の計畫 當地旭町居住の有志者一同は同町通りの體裁面目を一新する爲め兩側に自費を以て樹木の植付けを爲さんと計畫を立てたるが今聞く所に據れば右有志者は本年中に其筋の許可を受け旭町全體は八間幅道路なるを以て其兩側の家屋より二間宛を距てゝ樹木を植付け中間通りの四間は主として車馬の道に充て而して其植付く可き樹木の種類は柳槐の如き早茂樹となし長さ三四尺位のものを撰びて當初は今年中に植付けを終了すべき豫定なりしも昨今漸く氷結期に近づきたれば何れ來春解氷期を待ちて直ちに之れが植付けに着手する筈なりと

▲會議所整理 平壤に於ける日本人商業會議所は去月廿九日限り閉塞してれと同時に他よりの調査物依賴等は一切拒絕して專ら殘務整理を取急ぎつゝありと云ふ(平壤通信員)

## 和歌募集

勅題「新年雪」 選者 九皐館主留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日 本社編輯局

## 俳句

◎雜題十句 龍山 高木淡水

酒呑まぬ人に取らさん火鉢哉
松もれてさす寒月の光りかな
美くしき無心や除夜ノ梅一枝
行く年を惜むや春に待ながら
一筋の塵をたよりに初氷り

## 鎮西八郎

第四十六席 伯山改 神田松鯉口演

爲朝齋館を披らき見給ふと、其文面は義康荷も淸和の流れを汲みて共に八幡殿の孫なり常言に狐窟らるゝ時は兎是を悲しむと云へり禍ハ族に及ぶを恐るゝなり保元平治の擾亂に嫡家の歷々過半命を隕す豈是れを痛ざらんや然るに今幸にして足下獨り在世し玉へり爪閒工藤狩野介茂光近頃上洛して蹤麥す其事を聞に彼凜て云爲朝流人として威風を逞し茂光が所領の島々を掠取りて年の貢を止め剩へ鬼ケ島へ往來し鬼畜を奴僕として伊豆の國府へ來らし痛く國地の老弱を驚して娛樂とす上朝廷を恐れず下州民を憐まず成敗を放にして島民を罪し其爪を放ち其髮毛を脫し暴惡絕て比ぶべきに物なし伏願は爲朝征伐の宣旨を成下され官軍を下し玉へば日ならず彼島に押渡りて爲朝を誅罰し民の塗炭を救ひ候へしと聞ね上しかば主上驚き在〳〵してこれを諾なはせ玉ひ伊豆の國人北條以下の武士に仰せて茂光と共に軍兵を發させし玉ふさぞ懦れば官軍近きに其島へ發向せん足下百發百中の强弓萬夫不當の勇士たり共大底の將に臨んとする時能く一木の支べきにあらず終には弓折れ妙竭て父子東海の水鬼となりてん玆に義康齡四十に餘れ共未だ一子を擧す惻苔が不幸を憐んで子息一人を玉はらば義康養て子とすべし是一つには足下の武勇を承繼で足利の家を興さん又一つには足下の子孫斷絕に及ばざらん因て腹心の郎黨梁田二郎時員を遣して心中の機密を告ぐ爲ふて遲々し給はゞ臍を嚙むとも其斐なからん、倉卒の際具にせず請ふ察せよ

嘉應二年四月日 源義康

大島八郎殿

爲朝は時員の縛を解き「イヤ義康い使者とも知らずして辛らき目見せたるは氣の毒であつた、免して與れよ、書中に示す如く茂光の讒言に依つて官軍を向けらるゝことは、豫て思ひ設けたる所だ、左樣な場合は子供等を自ら刺殺して我れは割腹する迄のこと、しかはあれど義康一家の好を忘れず、我が子供を吳れよと云ふこと我れに於ても喜ばしく思ふ、長男爲賴は近頃元服なしたれば、之れを遣はせば世人より疑ひを蒙むるであらう、我は流人にして朝敵の名あり朝敵の子を貰受けしとあつては義康の爲めにもなるまじ二男朝若は年僅かに七歲なれども か〳〵に思慮わり、依て吾明日斯樣々に計らひて朝若を捨つべき間汝下田の浦にありて之れを拾へ、左すれば義康も拾ひし子を育てたるにて朝敵の子を貰ひしにあらざれば朝廷よりた咎めを蒙ることもないであらうから、汝我が子を拾ひて下野に立歸るべしと私語給ひ瑠返しと名付けたる秘藏の短刀一振を與へ「汝之れを義康に與へて證據とせよ、我れ今生にて義康へ報ゆること能はざれば、死して守護神となりて足利の家門繁昌を祈るべし、後聞を憚れば返事には及ばず、早く立歸り候へ」と急がせ給へば、時員拜謝して 時「然らば是より御暇仕るへし、若君を拾ひ來れば直ちに烽火を上げて相圖仕るべし」と約して元の漁船に飛乘つて密かに島を立去りました。

さて嘉應二年四月上旬、島冠者爲賴は舍弟朝若と共に大なる紙鳶を遊らせ、今や之れを揚げんと一給ふ時に、父爲朝は出來られ、一つの笛を手に持ちて兄等に示され爲「汝等能く聽け、此笛は樂人の脣を用ひず、吹き來る風に當る時は自から音を發して龍の吟するが如し、紙鳶に付けて風箏にせよ」と宣ひて朝若に與へられました、朝若悅んで受取らんとし誤つてハタと取落し石に當つて笛はサツクと割れたり、爲朝之れを見てハツタと許りに朝若を睨付け給ひ聲顏はせて「汝、爲若、性質輕忽にして父の申すことを充分心にも留めざるが故なり、左樣な心掛けにては行末親に恥を見せ、家をも汚すべければ、容赦はなり難し」と刀の鞘に手を掛け給ふた

京城新報

# 四年後の半島

## 安奉線落成と舊式日韓合併論

今より二年前に於ては、日韓合併論は余輩の一手販賣なりしこともありき。當時爲政者は勿論、一般世人も余輩の主張に耳を傾くることなかりき。然るに二年後の今日に於て、同問題が盛に唱道せられ、恰も枯木に花咲けるの感あり。世間をして如何にも陽氣に感ぜしむるに至りしは、余輩の愉快に感ずる所にして、殊に外字新聞迄が、其[illegible]に至りたるは、余輩をして驚かしめずんばあらず。尤も今日の日韓合併論たるや、主に伊藤公の兇變に據て産み出されたるものにして、[illegible]相違なきも、併し其[illegible]にあるとの其れが斯[illegible]ものにはあらず。云ふ迄もなく、余輩は主張に於て二年前と何の異なる所もなし。而して今日兎も角も余輩と主張を同じうするものゝ増加し來りたるは、余輩をして一種の快感を禁ずる能はざらしむ。开は[illegible]合併論なるものが、[illegible]して多く唱道せらる[illegible]果を納むべき所以な[illegible]見を以てすれば合併[illegible]日に於ては最早や議[illegible]に討論終決を告げた[illegible]にして、今は唯爲政[illegible]の可否を決するにあるのみ。[illegible]べからざるは半島の[illegible]釜京義の縱斷鐵道の[illegible]てや、當時日韓人を[illegible]此の縱斷線の爲め[illegible]が半島に來るべきか[illegible]りし。見よ縱斷線の[illegible]島の狀態とを。僅か[illegible]し此の一大變化は、[illegible]に起りしものにあら[illegible]一大變化の原動力た[illegible]線は、其の力の偉大[illegible]とは云へ、單に日本[illegible]び淸露と半島との關[illegible]しが。今より四年の[illegible]改築工事は落成し目[illegible]つゝある西伯利亞線[illegible]らば、半島は即ち明[illegible]交通せらるゝに至る[illegible]義線とを連絡して、[illegible]なり、所謂文明に於[illegible]ることゝなるなり。[illegible]貢となりて現はれた[illegible]の爲めに謀て、半島

現在の如く我國の保護國たることの可なるか、或は其他のものたるが可なるかに就ては余輩は今日に於て眞面目に考究せざるべからずと信ず。之と同時に、半島が明確に世界の一部となりたる曉に於ては、半島に於ける政治經濟社會各組織制度の萬事萬端が一大革命を受くるを免るべからざるは火を睹るより明かなり、果して爾らば今日に於ける有識者の急務は徒らに舊式なる日韓合併論を以て現時有する問題の全部と爲すことなく正に開けんとする四年後の新時代に處するの覺悟と準備とを爲さんことにあり、世の識者を以て任ずるの士睫前の問題の爲に四年後を忘れずんば可なり。

東京電報

## ▲陸軍大學に行幸

天皇陛下には本日陸軍大學卒業式に御臨幸遊ばされ優等生の講演を聞召され銀時計の御下賜あらせられ御還幸の途次參謀本部に御立寄り各大臣文官武官に御陪食仰付らる(三日)

## ▲賀陽宮の御輕快

御危篤を傳へられたる賀陽宮殿下は御衰弱甚しきも昨日來御氣分少しく宜しき旨仰せらる各弟宮殿下は此後の御變化を顧慮はれ御警戒中上げ居れり

## ▲伏見宮の御着洛

滿洲の御歸途賀陽宮殿下御病氣御見舞の爲め伏見宮貞愛親王殿下は昨日入洛せらる(同上)

雜報

## 警備船の好成績

全羅南道沿海に新設されたる巡邏船の實蹟に就て聞く處によれば九月十六日以來運轉を開始し此方面の諸島嶼を滿遍なく巡邏警戒し又曩に賊の大討伐に參加し暴徒の搜査及逮捕等に全力を傾注したり而して從來殆んど島嶼海面等警備機關なき結果該地方嶋民は安臥し且之に信頼するを知らず旁々不法の行動頗る多く殊に商業及漁業等に從事する日本人は不安の念に馳られ恟々たりしが今般警備船の任務に服するあり大に愁眉を開きたり而して其任務としては不良の徒を檢擧し或は島內の偵察或は安寧秩序に任し又面長洞長を會し日韓人に對し不正行爲めるべからざるを嚴諭し從來官憲より問ねられたる事柄にありては包藏するなく陳述すべきを諭し又船內に備付ある機關砲を發射し充分なる威力を示したるに島民は深く其威に服したるものゝ如し然るに設置以來警備船が直接奏功したる事に賊徒及嫌疑者六名海賊及嫌疑者十一名竊盜及嫌疑者二名居中審查者二名等あり殊に海賊犯として檢擧したる者珍島附近より一体に出沒し鋭器を携帶し横行掠奪を逞ふしたる者にして日本海船も其災害を蒙むるもの少からずと云ふ該羅船は獨り以上の目的を以て行動するのみならず其公益を計り個人の便乘を許し又調査上にも便宜を與へつゝある狀況なり當局に於ては醫師を便乘せしめ島內に於ける惡疫豫防を講じ或は檢黴等を行ひ衛生上にも遺憾なく勵行する方針なりと云ふ

## 韓國養蠶の前途

現時韓國に於ける繭の產額は農商工部の推定によれば僅かに三萬石にして養蠶の發達甚だ幼稚なりと雖も由來韓國の風土は養蠶に適するを以て若し之れに適當なる手段を施し其改良を計らば斯業將來の發達見るべき者ある由にて

第一、氣候の養蠶に適することは韓國の四、五兩月即ち蠶飼育の時期に於ては降雨甚だ稀れにして桑葉に雨濕の附着することなく又其溫度は日本に於て養蠶の盛なる信州地方と酷似するあり

第二、桑樹の栽培に適することにして平北、黃海、京畿、忠淸及び全羅の諸道は日本の福島山形等に於ける桑園と同一の土質を有し且つ日本の養蠶家が恐怖する霜害の殆んどなきこと

第三、地價の低廉なることにして中田一反步七圓乃至二十五圓ほどなり

第四、勞銀は一箇年一人に付二十四圓乃至五十圓なり

第五、韓國人は繭の飼養に慣れることにして農商工部の調査に依れば推定戶數十一萬以上あり大規模の蠶業なりと雖も分布の廣きを以て指導宜しきを得ば效果の見るべきものあるは明かなり

第六、韓人家屋の養蠶に不適當ならざることさ是なり此點に就ては種々の說あれども小規模の養蠶には障害なき也

今最近三箇年に於て仁川、釜山、元山木浦の各地より輸出したるものを見るに左の如し

| | 斤數 | 價格 |
|---|---|---|
| 隆熙一年 | 三、七七八 | 七三八 |
| 同二年 | 三、四四三 | 一、〇〇九 |
| 同三年 | 二、五一二 | 三、六五二 |

## 淸津免稅の實施

韓政府は本年五月廿六日淸津港經由間島及渾春地方への輸出入貨物關稅免除の法律を發布したるが間島領土權處分問題等起りし爲めか既に半歲を經過するも此が實施を見ず殆んど北韓商民をして疑惑の中に彷徨せしめ世間の論難喧びしかりしが今回愈々萬難を排して實施する事に決定し該法の施行細則は昨日統監の承認を得たり而して該法實施手續を開くに初め雄基、會寧、穩城、鍾城、會寧の六鎭に稅關監視署、慶源、慶興を新設する方針なりしも審議の結果會寧、慶興の二ケ所に限り監視署を新設し輸入貨物は淸津に於て間島及渾春地方に輸出する旨を申請し相當額の稅金を預託せしめ前記監視署に於て該貨物の國境を通過したる旨の證明を得て既納稅金の拂戾を爲す間嶋、渾春地方より淸津を經過するものも亦同樣の方法を採る由尚實施期は來る十五日より豫定なるも準備の都合上にて來年一月一日となるやも知れずと

## 模範林の新設計

從來農商工部の山林局が模範林として計畫せるものは二王山及鞍峴の二個所にして既に其の遂行を了りたる由なるが今又北漢山麓なる三角山は模範林新設の計畫を爲し目下準備中にて其の面積三十五丁步樹木は國木アカシヤ及栃を植ゆる筈なるが山林局にては京城附近の禿山を今後三年間遲くも五箇年以內には悉く青山と爲す筈なりと云ふ

## ●行政調査と地方官

統監府が今回地方行政調查會を組織し龍頭蛇尾の行政機關に正さんとせるは洵に可なるが如きも發表後數日を出でざるに早くも討議會策の一方便に過ぎざる如く傳唱せられ其前途を危まれつゝあり而して該組織を見るに其規模酷だ偏狹に失するが如く委員の石塚長官を中心として各部次官之に與るのみ斯くて調査の進行上最も必要なる地方官則ち理事官又は道書記官の如きを加入せしめず以て民情歷史に適應せる制度の考案を庶幾せんとす參與官如何に萬能の才ありと雖も到底其效を收むるを得ざるべし聞く處によれば地方官は其官等低く彼等と伍列するは体面上面白からずとて一時其議ありたるも中止し參與官のみを以て組織せるものにして地方官に對しては問題每に諮問を發し意見を徵する都合なりと今更ながら階級に拘泥する官吏の陋態見るに忍びずとて某勅任官は憤慨し居れり(電通)

## ●學部所管外の學校

學部に於ては明年度に於て全國の樞要地に實業學校、公立普通學校、各三十校を設置する計畫なることは既報したるが猶ほ地方に依りては農學校の設立を希望する所なきにあらず所謂實業學校中には農學校も包含せらるるものと見て差支なきも若し不幸にして豫算の都合上實業學校の設立が延期せらるゝ場合は地方費を以て簡易なる農學校を設置するに至るべく然るときは其所管は學部なるや內部なるや又は農商工部なるやを議する者なりといへども學校の統一上學部の所管となすを適當とすべく現今學部所管外の學校としては修學院(宮內府所管)法官養成所(舊法部所管)水原農林學校(農商工部所管)工業傳習所(農商工部所管)大韓醫學校(大

## ●韓國各港外國貿易

十一月下旬に於ける韓國各港外國貿易(韓國度支部稅關局調査に係る者)左の如し

| 區別 | 本年本旬分 | 前年同期 |
|---|---|---|
| 輸出品價 | 六二三、六九一 | 四七九、三三三 |
| 輸入品價 | 一、二五五、六〇四 | 一、〇一七、〇一八 |
| 合計 | 一、八七八、二九五 | 一、四九六、三四〇 |
| 輸入超過 | 六三二、九一三 | 五三七、六九六 |

貿易額の港別を擧れば左の如し

| 港別 | 輸出額 | 輸入額 | 計 |
|---|---|---|---|
| 仁川 | 八四、七二四 | 三八七、六二四 | 四七二、三四八 |
| 釜山 | 二四〇、九三五 | 三九一、四六〇 | 六三二、三九五 |
| 元山 | 三三、九一六 | 五四、六六八 | 八七、五三四 |
| 鎭南浦 | 八三、九三六 | 一〇六、六二三 | 一九〇、五五九 |
| 京城 | 一、三〇六 | 一五六、一八二 | 一五七、四八八 |
| 群山 | 一〇三、七五〇 | 二四、一六七 | 一二七、九一七 |
| 木浦 | 四〇、七六二 | 二五、八六九 | 六六、六三一 |
| 馬山浦 | 四、七四九 | 一五、五一一 | 二〇、二六〇 |
| 淸津 | 四、九一八 | 五四、二二五 | 五九、一四三 |
| 城津 | 一〇、一六五 | 六、二五一 | 一六、四一六 |
| 新義州 | 一四、五三〇 | 三三、〇六四 | 四七、五九四 |
| 計 | 六二三、六九一 | 一、二五五、六〇四 | 一、八七八、二九五 |

## ●各道の屠獸數比較

屠場法の實施と共に各道共屠獸の多寡により屠獸稅を一定する必要あり過般來內部密殺多きを以て精確なる統計を得る能はず苦心の餘漸やく實地調査を終へたる結果左の如し

- 三千頭以上　開城、羅州、平壤、義州
- 二千頭以下　仁川、海州
- 二千五百頭以下　光州、莞島
- 二千頭以下　順天
- 千七百頭以下　水原、揚州、大邱
- 千五百頭以下　淸州、忠南懷德
- 千二百頭以下　定州、公州、恩津、燕岐、東萊、金萊、海州、
- 千頭以下　安城、昌原、成興、德源、雲山

因みに屠場は韓全國にて京城の二箇所を除き千三百十一箇所を數ふる由

## ●謝罪使運動の其後

既報の如く伊公兇變に對する謝罪使渡日運動員等は大寺洞関永逵方に協議事務所を設けたるが全道に檄を飛ばし有志の糾合に努めつゝある結果既に上京せるもの九十餘名の多きに達し尚は申込み來りたるものを合すれば百四五十名を算し居れり而して其系統は政黨政派に關係なく比較的純良なる分子を含めるものゝ如く今日迄の行動を監視するに何等非違の擧あるを見ず又彼等が運動費は會員より一圓宛醵出して之を辨じ居るも渡日決定の上は會員の財產を提供して農工銀行より三萬圓借入の內約成立し居れりと云へり(電通)

## 民長候補の決定

既報の如く一昨日午後六時三十分民團役所樓上に於て民長候補推撰協議會を開き出席者は旅行中の山口太兵衛、關繁太郎兩氏及秋吉富太郎氏を除くの外十六名にして和田議長前日來繼續の協議會開催の旨宣告し夫れより候補推薦には一人又は二人以上を連記し官選へ報告す可きや否やに就き議論區々に涉りたるも結局投票の結果を其儘報告する事に決し隨意の投票を執行したるが既に覺書の交換に依りて多數の意志融合せる事なれば開票の結果左の如し

- 十一票　古城菅堂
- 四票　菊地謙讓
- 一票　和田常一

則ち古城氏過半の大多數を得たり而して今朝和田議長は此結果を齎らして三浦理事官を訪問し官撰を乞ひたれば兩三日中には任命せらる可し

## 民團財政の順調

民團にては現計不足の場合は豫算內の支出に充つる爲め一萬圓を限り一時借入の決議を爲しあるも未だ之が處分を爲したる事なしと云ふ

## ●上京委員會の模樣

仁川築港期成會上京委員會と一昨二日午後五時三十分より仁川俱樂部に開き種々今後の運動方針に就き審議せし結果明五日午後六時より民役所樓上に於て請願委員六十二名の總集會を催ふす事に確定せる由なるが聞く處に依れば目下築港急設運動には千載一遇の好機にして一度び此機會を逸せんか再び機の到來覺束なかるべければ此際運動方法の如何は直に築港の成否に關するものとして大々的奮起を要するが爲め總集會を開くこになりたりと云ふ

## ●統監府員等の昇任

統監府員及同韓國政府傭聘官吏左の如く昨日昇任せられたり

- 任統監府通信管理局事務官　統監府通信管理局事務官補　八木辰馬
- 同　統監府屬　三宅貞次郎
- 　田中遷
- 任理事廳副理事官　統監府警部　天野章四郎
- 同　是澤眞一郎
- 同　國友尚讓
- 同　安田勝實
- 同　松井信助
- 任統監府警視

## ●度量衡普及と豫算

農商工部が本年度度量衡の配布を爲したる場所は黃海道、忠北一圓、同南道の重なる場所慶北全部、同南道の牛部にして城津淸津及び江原道にも配布すべき豫定なるが明年度は豫算金十一万圓を計上し內八万圓を材料購入費に三萬圓を事務費又は旅費等に充つる筈にて全道三百三十郡の內百部は既に配布を了り明年度は八十郡に配布すべき豫定にして今後三年以內に全道の普及を了る筈なりと云ふ

## ●技術官會議出席者

農商工部が來る六日より開催する技術官會議は其會議を日本人商業會議所樓上に於てする筈なるが出席員は各種苗場、棉花栽培所、園藝及勸業模範場、測候所、地方金融組合技手十五名農工銀行技手三名本部よりの出席者等を併せ約五十名なりと云ふ

## ●去月中の連絡輸送

大阪商船會社の韓國沿岸航路と鐵道院各線間の旅客手小荷物連帶輸送は開始以來日尚淺くして一般に周知せられざる爲めか未だ成蹟の見るに足るもの無く十一月中の輸送數量左の如し

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 仁川發旅客 | 三二人 | 同港着同 | 二人 | |
| 同手小荷物 | 三九個 | | ナシ | |

## ●猩紅熱流行と學童

近頃十二三歲未滿の學童にして死亡續出し居留民は日々會葬に違なき程なるが病名は腎臟炎又は肺炎とせられあるも傳染的の系統あるより猩紅熱の疑を挾しみ小學校長及民團吏員等協議の上場合によりては當分休校す可しと

## ●練習艦隊に紀念品

豫定の如く北白川宮輝久王殿下以下海軍少尉候補生を搭乘せる練習艦隊阿蘇宗谷の二艦は四日正午旅順より仁川に入港する筈なるが信夫理事官は晩餐會を催す外紀念品を候補生に贈呈すと

## ●兩警察署の落成式

櫻井警務局長は水原警察署落成式に臨場の爲め警部一名を隨へ四日同地へ出張、又黃海道海州警察署落成式へは次官代理として遠元事務官警務局よりは寺島警部出張を命せられ三日出發せり

## ●ボジャー中佐全快

キッチナー元帥一行のボジャー中佐は病氣の爲め一行に分れ當地大韓病院に入院治療中なりしが已に全快したるを以て近日中に出發歸國の途に就く由

## ●白耳義領事の告別

京城駐在白耳義新任領事プレボヂア氏は近く賜暇歸朝するに就き不在中代理副領事ワンビールプリエット氏同道三日統監府に石塚長官を往訪し告別せり

## ●民長助役と會計役

民長決定の上は助役及び會計役問題は次いで沸起す可き成行なるが古城氏及各議員間には內打合濟みにて其任用條件は古城氏と議員と互讓的に決する筈

## ●仁川港の出入船舶

仁川港に於ける十一月中に於ける船舶の出入數を聞くに左の如し

汽船入港五二、同出港五二、帆船入港五、同出港二、沿岸航行汽船入三〇、同帆船二二七、漁船入港四一乘組人員一八六一人

## ●三派代表者の集議

三日韓人商業會議所樓上に一進會大韓協會西北學會の代表者集合し所謂聲明書なるものに付きて評議せりと

## ●三浦理事官の訪府

一昨夜民長候補詮衡會の議事及投票結果報告の爲同理事官は昨朝十時統監府に登廳曾禰統監に向ひ詳細報告せりと

## ●新任領事の着任期

新任京城駐在英國領事ボーナー及米國領事シドモア氏は數日中着任すべしと

## ●仁川居留民會開會

第十三回仁川居留民會は三日午後六時より開會既報の[illegible]

## ●大內代議士の退京

過般來滯京中なりし[illegible]氏は一昨二日釜山へ向て出發す

## 關釜連絡の荷客

十一月中に於ける關釜連絡旅客及び手小荷物の數量は左の如し

旅客出 [illegible] 入 [illegible]
手小荷物出 [illegible] 入 [illegible]

右は何れも昨年同月に比し幾分の減少を示し入韓旅客は六十一名を增加す

●瓦斯會社の披露 [illegible]社に於ては披露の爲め明五日午後五時より翠翠樓上に於て官民を招待し披露の宴を張る[illegible]

●小川事務官 [illegible]屋、滋賀、東京及大阪へ出張中なりし農商工部事務官小川[illegible]

●仁川商會役員會 [illegible]は來る六日午後[illegible]四十二年度決算[illegible]

●居留地會の開會 [illegible]會を今四日午[illegible]

●磯山主筆の[illegible] 元山日報主筆磯山二郎氏二日入京山本旅館に投宿

●長谷川社長 [illegible]

●長谷川義雄氏 [illegible]

●英國汽船の入港 英國汽船[illegible]リン號は二日[illegible]

## ▲治外法權

[illegible]は犯罪に關する[illegible]嫌ふうだ[illegible]探つて新聞社[illegible]て中々入釜敷[illegible]開放主義を採[illegible]は之れに鑑み[illegible]似をするとは[illegible]乘駿が歸る[illegible]朝鮮人が朝鮮[illegible]ないが一體[illegible]歸る／＼と云[illegible]催促ダンベー[illegible]の釋放運動を[illegible]さに餘計なれ[illegible]く當局者に一[illegible]ふ▲京城民長[illegible]て古城君に決[illegible]云へば宮內府[illegible]の大岡君も候[illegible]記者は力君の[illegible]やつたそうだ[illegible]京城日報の社[illegible]があるものと[illegible]

## ●天氣豫報

(自三日午後六時至四日午後六時)

西の風晴後曇

最高溫度 [illegible] 最低溫度 [illegible]



桑港電報

▲尼米兩國の戰雲 [illegible]

●鴨綠江の連絡杜絕 [illegible]一昨二日より昨三日にかけ[illegible]

昨二日も亦連絡船一便より四便迄休航[illegible]

●沿岸航路と當局者 [illegible]に對する當局者の意向を聞くに[illegible]

# 西小門通りのコスモポリタン

▲絢爛妍を競ふ南洋の名花
▲狂蜂痴蝶蝟集す紅燈の下

降るアメリカに濡らさじと袖かみしめ思ひ餘りて乃に伏せし娼婦絶遊が消節も移らふ星の數を經て物も變れば人の心も變り行きて今では唯徒らに其の野暮をのみ唄はるゝ世とはなりたるも道理、遂ひ幾日迄は人間に縁遠き國とし見られたる東洋朝鮮は京城西小門通りに獨逸、佛蘭西、希臘、ガリシヤ、ロシヤ、支那の各國の名花は移し栽へられ、細腰嫋々として他が來り抱くを待ち玲瓏玉の如き豐頬又他が來り觸るに委するを見る、綠爛眼を奪ふ粉黛の裝ひ、芳芬鼻を掠む蘭奢侍、眞に徂徠人をして魂飛び神躍るの感あらしむ、夫れさへあるに昔しは露をだに厭ひし大和撫子の今は誰れでも隔はず情の露を注がば濡れて見せんの大提灯掲げ外國娼婦の紅硝子軒燈と其の光りを爭ふあり降りては油紙かけたる朝鮮カルボー家のブラ行燈百尺竿頭に不景氣を呪ふ人魂の如く此所に來よと云ふらしく風に吹かれて樹てるがあり歐洲人でも日本人でも乃至は支那人朝鮮人金さへ持て入來れば人種の異同は問ひもせねば名乘るに及ばぬ機會均等門戸は何時も開け放し一切萬事極端なる世界主義の大發展、何所かの隅で唱へらるゝ亞細亞が何ふで黃禍が何うのと云ふ樣な野暮は此所でも一切禁物「浮かれる宜しい、貴郎好きある、面白いある」と賑かども何んとも素晴らしい大景氣、されば京城在留の男と云ふ男にして西小門を訪はざるは稀れに押すな押すなの人出なるが今其の歐洲種の名を擧ぐればカーチエー、ウラヤ、ナジエー、リーリヤ、ミンナー、ルーザー、メラー等なるがメラー、ルーザーの二名妓は先日釜山に向けコスモポリタニズム宣傳の爲め當地を引拂て出發したと云ふ

# 兇漢安泰勳(三)

暴戾殘虐比類なき擦發に富む謀反人同所にても銃獵に巧、謀反氣に富む性みなる朋輩を蒐め己れ之が巨頭となり日課の如く狩獵を試みつゝありしが安應七の風を望んで來り投する者頗る多く遂に有力なる團結を組織し隨所に掠奪を行ひて良民を虐たげ聲望遙かに李範允よりも高く李範允は素より李相卨李瑋鍾及び浦鹽の富豪たる崔鳳俊等と交り能く絶へず相來往して慷慨悲憤の激語を弄して相說べり恰かも其頃の事なりき趙志淵が浦鹽にて發刊せる共同新報に入社する以前ヤンチカにありしが親日的言動多しとて之を忌み安重根は部下に命じて趙志淵を暗殺せしめんとしたるが事顯れて遂に成らざりき安重根の妻は信川郡朴氏の女にして家貲豐富、安重根は現に巨万の財產を有せりと聞く獰猛殘虐なるその性父安泰勳に似て一層酷く遂に還回哈府に於て韓國の一大恩人たる藤公を狙擊したるが今や捕へられて囹圄の裡に呻吟せりまことにこの親にしてこの子ありと云ふべし(完)

# 當世ダシ多羅大盡

▲仲裁統監の親類と稱し
▲朝倉氏をダシに使ふ

先月廿六日仁川の旭屋旅館に年齡廿七八の洋裝紳士一名腕車の音も威勢よく投宿したるものあり、同旅館に於ては丁寧に之を迎へて特別室に案內し下にも置かぬ待遇を爲したるが彼れ紳士は莊重なる口調にて自分は曾禰統監の親類の者にして過る三十七八年戰役の際は御用商人として滿州にあり當地秋田商會と大々的の競爭を爲したる者なり今回は商業視察旁々秋田商會に數萬圓の貸金あれば取立の爲め來仁したるものなりと嘘か眞か知られ共勿体振て打ち語るにぞ同旅館に於ては近來の好き客御參なれと心團盡めに之れを優待すれば此方の紳士も之れを好き事にして種々なる物品を注文して其代金を旭屋に立替させ尙ほ北海道への發送電報料までも取替させ後に勘定すべしとて朝から晩まで酒肴を取寄せて發澤三昧に日を送るのみならず淺岡樓に數回登樓して八千代千多其の他を總揚げにして飮めや謠への大々的散財を爲すにぞ同樓に於ては此の不景氣なる時節に斯かる弗客の舞込みしを天の與へかとばかり欣び藝者は固より仲居に至るまで有らゆる限りの愛嬌を振り蒔けば此方の紳士はさも應揚に大盡の氣取り此次來た時仲居一人に五圓宛のポチを與ゆる等口から出任せの法螺を吹き立て勘定書は旭屋に持參すべしとて同樓を辭し更らに本月一日一富士に登樓したるが此際同伴せし淺岡の藝妓千多は一富士の帳場に向ひ二階のお客は近頃稀れなる大盡さんなればと窃かに耳打すれば合點とばかり同樓の勇子、富久之助其他の面々を揚げ此處にても冬を餘所なる大陽氣の大散財を爲し宴は將に酣なるの頃ほひ仁川在留の辯護士朝倉外茂鐵氏を電話にて呼び寄せ大事件を依賴せずばなければ……兎に角飮み給へとばかり盃を差し共に大浮れの散財に夜の更け行くを知らざりけるが越へて二日の午前一時過ぎ同樓より勘定を請求せらるゝに及び持合せなければ旭屋に取りに來れと云ひたれど淺岡の如くハイ宜しう御座いますと調子よく行かず見ず知らずのお客なれば是非にと催促すれば以前に變る件の紳士の見幕、忽ち仲居の頰端を拱りし始末に兼ねて怪しき男なりとて仁川署の三刑事は尾行しつゝ彼れの行動を監視し居たる事とて直に本署に同行して取調べたるに同人は北海道石狩國空知郡瀧川生れの士族足達文男(二八)と云へるものにして去月二十六日京城の料理店井門其他にて前同樣大風呂敷を擴げて無錢遊興を爲したる上仁川に來り旭屋に投宿して虛勢を張り淺岡にて百數十圓一富士にて三十一圓を飮み倒し尙ほ秋田商會へ云々は跡方もなき事實にして朝倉辯護士を呼びたるも只だ眞のダシに過ぎずとの事を惡ひれもせず自白せしにぞ其筋にて專ら取調中なりと探聞せり

## 醉漢電車線路に眠る

▲二三間以上引摺らる

一昨二日午後八時三十分西龍山元町四丁目豆腐屋島田久作方賣子飯田平太郎(二八)といふは前後も知らぬ迄に泥醉して元町三丁目京義線鐵橋下の電車線路に打倒れ居たるを斯くとは知らず京城方より駛せ來し電車の運轉手金淵尙が行手を透し見れば何か黑き物の軌道に橫はり居るにぞ驚きて停車せんとせしも電車のことなれば惰力にて件の黑き物を二三間も押し行きて漸くに停車せしを運しと飛び下りて見れば生きた人間に相違なく頭部面部等に微傷を負ひ居たるにぞ警官に急報し附近の長尾醫院に擔ぎ込みて手當てを受けしめしが此の時迄でも平公は前後不覺の體なるより醉の醒むるを待ちて散々に叱られて引下がりしと何だか變に張合の無き和郎ならずや

●東部管內の強盜 一昨二日午後九時頃中部壽洞十三統七戶金錫恒方に朝鮮笠を戴き丈高く眼鋭き散髮をなしたる一名の韓人強盜闖入し家人を强迫して金指輪一箇十錢銀貨八箇を强奪して悠然と立去りたるを訴に依り東部署に於ては即刻非常線を張りて嚴重に犯人搜索をなせしかども未だ縛に就かずとは物騷な話なり

●養生館の新設 南大門通二丁目スクラントン氏邸內は雜鬧の市街中にありて別天地を爲せる一公園の如き觀あるが今回ス氏は邸內に一大養生館設立に着手せられ目下工事進行中なるが落成の上は飮食萬端の設備を完全になし病院とホテルとの間を行きて一般入館者を歡迎すべしとの事なり

●觀世素謠會番組 四日午後六時より京城婦人會々場に於て第二回素謠會を開催せらるゝ由なるが其番組は左の如し
竹生島 花の組(小袖曾我(月の組)葛城(梅の組)天鼓(松の組)鞍馬天狗(雪の組)祝言獨吟、烏帽子折(抽籤)

●新町だより 一昨夜の新區遊廓の嫖客は八十二人にして散財高四百七十一圓八十六錢なりき

●娼婦の檢梅 來七八兩日間警視廳衛生課に於て市內韓娼の檢梅を行ふ筈

## 吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷
十二月四日 舊十月廿二日 八白 先勝 戊戌
△一白●衰運なり進取を捨て守を成すべし尙旅行相談等効なし△二黑●非理を以て抑壓せらるゝ事あり從者家族の身上に注意すべし△三碧●爭論衝突誘惑旅行愼しむべし尙盜害遺失防ぐべし△四綠●陰鬱なる日なり成事不得要領に了り易し農林及婚姻の事談に妙なり△五黃●平靜の日なり不可なし業務又は職務上に失念疎漏ある勿れ△六白●隆森の日に付開店開業仕事始め模樣替方針替等良し△七赤●總て盛運の日なり契約相談婚姻等整ふ色情酒害を畏るべし△八白●開店開業仕事の模樣方針替等効なし保證引受貸借財を禁ずべし△九紫●利益若くは貪心の事あり誘惑を防ぎ華美に流るゝ勿れ

## ◀平民文庫▶

▲僕の所の下女の面と來たら話にならんのだが夫れでも醜いと云ふと怒つてプリ〳〵する直ぐに殘念だが之れに對する生た茶で讐を討ちに來る、殺與奪の權は彼れにあるのだから如何とも致樣がないが、腹が立つから何時も其の時には親切に斯う云つて行る「お前の面で美人と云はれたければ何か奇拔な方法で死んで試ろ、さすれば變死美人と新聞に書かれること受合ひだ」とすると彼れは人の親切を無にして又怒る「死んでから褒められたつて詰るものか」と云つて、其所で僕が又「お前は變死でも爲ければ美人とは云はれぬのだが嫌とあれば餘儀ない譯だ夫れでは當分は美人と云はれ樣など謀反氣を起すなよ」(下宿人)▲此の頃當地小學校に於て兒童に貯金袋を渡して其の貯金を獎勵せらるゝ此れは甚だ善いことではあるが他の兒童の貯金高の上るのを其の他の兒童に吹聽して誰れのはモウ何程になつたのに誰れさんのは未だ何程しかないと云ふ風に反撥的に强制せらるゝ傾きがあるが之れ亦吾々貧乏人に取りては甚だ迷惑を感ずるのみでなく軟弱なる兒童の頭腦を刺戟して救濟すべからざる惡結果を齎らしはせまいか一考を煩はしたい(溫突住人)▲南部署は嚴格なる署長受付主義を實行せられて頗る平民主義を發揮し居るが西東北署は之れに反して又頗る貴族主義の樣に見受けられるが何方が便利かしら(平民)▲此の頃の連絡船は常に不連絡船である小さい船を使はずに思ひ切つて大きい奴にして貰いたい(往來客)▲京城で料理が安くて美味いのは何處ですか又新町で尤も格安に愉快に遊ばせるのは何處でしようか(新來生)▲新來生よ京城に來ると早々其の樣なことを聞く樣では君の前途も知れたもんだ今の間に心を入れかへ給へ惡いことは云はんよ(小僧)

▲無料紹介欄▼

人事部

●使用たし 年三十五普通教育あり〔多年〕鑛山事業に多大の經驗を有す如何なる危險も不厭 姓名在社（四八三）

●就職度 年三十三才貨物取扱及税關手續に經驗あり英語を解す商店又は會社に雇はれたし 氏名在社（四八五）

●女中入用 十五歳以上四十歳以下の上品なる女入用給料は次第保證人を要す（家庭小人數） 龍山老松町三四兒玉

●就職度 年廿五寫眞術並に測量等に經驗有り 氏名在社（四八七）

●告上原氏 態々申込あれども通知するに由なし往復はがき又は郵券送付ありたし（係）

●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所

●告ケーヂー生 紙上の匿名は可なるも絶對の匿名にては通信するに由なし故に住所氏名を本欄係宛にて通知ある迄掲載を見合はす（係）

●寫眞撮影助手 氏名在社（四九一）

●求職 昨今渡韓の靑年拾九歳事務員又は商家に雇れたし 氏名在社（四九〇）

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯殿付家賃格安 氏名在社（四七八）

●貸家 北部齋洞廿九統四に安價の貸家韓家數間あり御希望の方は同所の内尾に就き問合せあれ

●古新聞 六月後の大阪朝日、大阪毎日、京城日報七月後の朝鮮新報取揃原價の半額位にて讓受たし 氏名在社

廣告

---

多少に不拘萬事御便利に御扱申候

旭町一丁目

# 質 川崎

本町裏通北側

品物は大切に保管秘密最守仕候

電話六七三番

---

●●●滋養と牛乳●●●

馬車配達

純良 牛乳

京城東四軒町

岡野牧場

電話壹〇六九番

●●●衛生と消毒●●●

---

# 待春日

合のし

---

明治卅年七月創立

# 東京火災海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓

京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

---

## 概略營業品目

和洋帳簿諸紙類　文房具學校用品　卷紙封筒手帳類　帽子洋傘クツ鞄　洋服附屬品一式　メリヤス類一式　毛布膝掛馬車掛　石鹸香水齒磨類　タオル、ハンカチフ　手袋沓下袋物類

正札 ㊀ 引なし

官衙、陸軍 銀行、會社 御用達

京城本町四丁目

# 池田長兵衛

電話二百〇六番

和洋雜貨 御小賣商

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

---

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店

獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番

時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

---

# 東京足袋

本店東京

京城大和町一丁目（日の出橋際）

大和屋

藤井出張店

電話二百〇五番

正札付大安賣 厘毛引なし安心して買へ升

---

たやすくうります

# 綿わた綿ワタ

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

京城明治町一丁目四ッ角

御問屋 唐川商店

電話二六一番

---

原料 價格 技術

輪より證據

# 三大勉強

京城旭町一丁目

金川靴店

〔御〕試しあれ

---

# 大上商店

漬物 味噌 醤油 製造元

京城本町五丁目

和洋酒、㊁精酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

（電話二五一番）

---

會席御料理 御一人前 肴四品付 酒二本

金六十錢

すき燒其の外御好に應

京城竹園町一丁目

遊樂樓

（元三遊樓跡）

---

# 折箱

製造元

京城明治町二丁目五十番戸

漢城病院下横へ入ル

箱信事 鳥山商店

---

入院隨意

京城壽町三丁目（電話三七八番）

# 中島醫院

院主醫學得業士 中島貞信

---

# ☰ 三一館

焦心望志多年爲斯道於難堅確與旨恍然似有得者匪勝推腹斷陋陋茫洋鮮愈酒腦素面輕蠶也

易斷觀相教授 京城本町五丁目

館主 土御門派大陰陽師

---

〔宮內府御用〕……

---

# 眼科專門

京城本町一丁目憲兵分遣所前

江頭眼科醫院

前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

（電話三三）

---

精資を旨とし大勉强仕候也

宮內府御用

# 博物館

古今美術 表装 書畫

金銀屛風襖洋式天井張

表具 松月堂

壽町二丁目

電話千〇〇三番

---

龍山若松町

島崎鐵工場

電話四四一番

---

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候

御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目

# 原金旅館

（電話一一一五番）

---

大根大賣出

澤庵漬用大根

漬物用白菜

農商工部 園藝模範場御拂下品

自園栽培

並に●鹽●糠●各種子●農具一式

例年の通り品質特撰の上破格廉價を以て販賣仕候間續々御用命之程願上候現品配達は來る廿五日より開始仕候追て御希望に依り漬込の御囑にも可應申候

京城本町一丁目（長谷川町筋）

三輪商會

電話三八六番

---

大合 荒物世帶道具一切

和傘 製白絞油 和洋蠟燭 岐阜提灯 魚釣道具

# 卸小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目録御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具 各國諸油米穀 銘酒澤龜アサヒサッポロ麥酒 並に買次業

京城本町六丁目

㊇西 西崎嘉七本店

電話長二一〇電話（二カ又は三）

振替貯金口座東京（九四一七番）

---

上等石炭各種

並に無煙炭販賣

京城本町二丁目

林田交換所

（電話六十五番）

---

緊急廣告

石川高等法院判事閣下校閲

今村內部警務局警視閣下校閲

日韓印刷株式會社編輯部編纂

○印刷○明○校正嚴密

○類集整然○携帶便利

# 統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

壹册紙數六百頁 菊判半截形 製本堅牢 正價金六拾五錢

◎此際に限り實費金五拾錢にて配本仕候十二月五日出來配本

◎本書は日韓一家的關係の上に於て近來に於ける一大進捗とも稱すへき司法權委任に關する法令を餘さず洩さず網羅蒐集したるものなり

◎本書は時世の要求に依て產れ出關係官民各位の竭望に應すへく玆に印刷實費を以て提供を開始せり

◎本書は官衙公署は勿論銀行會社組合事務所其の他苟くも在韓官民諸彥の座右に是非備へ置さるへからさるものなり

◎本書は必要の場合に應して使用するのみならず此際に於て是非一回は御通覽の必要あるものなり

○總目次見本は御申込次第郵送可仕候持別減價の方法あり

○御希望の方は本月末日迄に御申入れを乞ふ

京城明治町三丁目

日韓印刷株式會社出版部

---

●電話開通 八百三十五番●

# 唐津石炭

直輸入商

並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五

南大門高等女學校裏通り

# 近藤商店

---

株式會社

# 第一銀行電話番號

總支店 長二六〇番 國庫部、發行部用

長三一六番 支配人、調査部、文書課用

長三二三番 國庫部、發行部、當直用

六二三番 臨時建築部用

京城支店 長一〇一番 用度係、分析所用

六一二番 來客用

六一一番 營業、當直用

營業用

---

株式會社 十八銀行 京城支店

京城南大門通

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 九拾萬圓

（電話四二〇）

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

---

本店 長崎市築町

支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國 日本

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

---

★ 株式會社 百三十銀行 韓國總支店

京城本町二丁目十五番戶

電話五十八番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名松阪、

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、靑森、秋田、能代、土崎、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山小郡、長府、網干、

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、洲本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南、

淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

---

株式會社 日本郵船 出帆廣告

仁川電話十番

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番

郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 十二月十九日後三時出

●大連、太沽行 高砂丸 十二月廿一日正午時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月七日午前六時出

●大連行 酒田丸 十二月七日正午時出

●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行 立神丸 十二月八日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事